

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(2/6)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
健康長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区 (見附市等)	正	4.0	4.0 進捗度 ・総合評価指標としての「健康度」の開発 110% ・地域住民のヘルスリテラシー 99% ・日常の主移動手段(徒歩、公共交通機関等利用者的人数比率の向上) 都市圏 106% 非都市圏 105% 等	4.0 規制の特例等 ・ライジングボラード(自動昇降式車止)による車両通行制限実施 ・連節バス(BRT)の導入と拡大に向けた手続の簡素化 等 財政支援等 ・歩いて暮らせるまちへの再構成 等 地域独自の取組 ・健康運動事業への財政措置 等	4.0	<p>・健幸クラウドを整備し、政策実施に役立てていること、参加各自治体の先行的取組みが他の自治体に「水平展開」されていること、さらに本特区参加自治体以外にも影響が及び始めていることは評価できる。</p> <p>・健診受診率の向上、一人当たり医療費等市民の健康に関する行動を直接的・客観的に表す指標において計画通りの進捗が見られない。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)